

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月28日

組織名【 愛知県医師会 】

施設名【 藤田保健衛生大学医学部 】

職場・所属【 看護会病室委員会 名



【賛同者の名前やメッセージなど】

民主主義の国ですから、議員の数で法案は決まるのかもしれません。しかし決める方に問題があると思う。仮りに戦争が出来るため法案なら参加するのは現在の自衛隊ではなく、自民党・公明党の支持者と選挙に行かない人たちが新たに作った隊で出動して下さい。